

デジタル月間賛同企画「ぐんま古墳カード NFT」を発行します！

県では、デジタル月間（10月1日～31日）の趣旨に賛同し、社会全体のデジタル化への機運向上を目指す施策として、8月1日に発足した「Web3 推進プロジェクトチーム」により、「ぐんま古墳カード NFT（非代替性トークン）」を発行します。

1 ぐんま古墳カードについて

ぐんま古墳カードは、東国の中心地として栄えた「東日本最大の古墳県」をPRするとともに、県内各地の古墳や博物館への周遊を促すため、令和元年から作成しているものです。これまでに、県内の古墳36か所（各2種類）を3回に分けて発行しており、いずれのカードも大変好評です。



2 ぐんま古墳カード NFT について

ぐんま古墳カードのうち、「綿貫観音山古墳（高崎市）」のオリジナルデザインカードについて、NFT（POAP）として限定で100点発行するものです。

※POAP（ポープ）…記念品等として配布する譲渡不能な NFT

3 ぐんま古墳カード NFT の入手について

- | | |
|----------|--|
| (1) 入手場所 | 県立歴史博物館（デジタル埴輪展示室）
※入館には一部（中学生以下等）の方を除き観覧料がかかります |
| (2) 入手方法 | 二次元コードからアクセスし入手 |
| (3) 発行数 | 限定100点 |
| (4) 配布期間 | 令和4年10月15日（土）から発行上限に達し次第配布終了 |
| (5) その他 | 詳細は、群馬県公式サイト (https://www.pref.gunma.jp/cn01_00035.html) にて御確認ください |